

平成30年度・令和元年度・2年度

水戸市教育委員会指定校

第四中学校区 施設分離型小中一貫教育に関する研究



1 研究の概要

目指す児童生徒像

心身ともに自らきたえ、
知性豊かな児童生徒

研究主題

児童生徒、教職員の交流を図りながら、
「よりよい集団を自ら築く
児童生徒の育成を目指して」

主題設定の理由

- 各学校・学区の特色
 - ・ 学校規模
 - ・ 児童のスムーズな移行
 - ・ 地域の方との積極的・協力的関わり

- 他者との協働,確かな学力,活用する力





- ・「つなげる」「そろえる」活動の吟味



確かな成長

- ・多様な児童生徒を一つにまとめる



実践の基盤

- ・児童生徒自らよりよい集団を築く意欲・行動力



継続してできること

(1)研究のねらい

○ 特別活動

行事や話し合い活動の進め方等

⇒ 学級活動や児童会・生徒会活動の活性化

○ 9年間の学びの連続性を重視

- ・ 「学習の約束」や「共通の授業構成」の検討
- ・ 授業力の向上

⇒ 基礎的基本的な知識・技能の確実な定着とそれらを活用する力をはぐくむ

(2)研究計画

1年次

- 小中共通で取り組む内容の決定・実践を通し、相互のつながりがもてるようにする。

2年次

- 小中共通で取り組む内容を見直して実践を重ね、相互のつながりを深める。

3年次

- 取組からさらに重点化を図り、相互のつながりや地域・家庭との連携を広める。

4 研究の内容

(1) 1年次の取組

① 児童・生徒交流研究部

- ア 小中スクールリーダー研修会(平成30年8月16日)
(水戸少年自然の家)
- ・ 野外調理実習：午前



- ・ 情報交換会：午後
四中学区で「目指す学校像」をグループで話し合う。



イ 四中生徒会による

「四中学区小中学校 目指す学校像」の提案
しあわせ < 4 (校) + 合わせ) ⇒ 一つを作る



ウ 小学校で全校集会の開催 (目指す学校像を受けて)



- ② 話し合い活動研究部（平成30年8月3日）
： 四中
- 学級活動(話し合い活動)
小学校共通で理解しておくことの確認



③ 記録・広報研究部
各学校に掲示



イ 食育活動

- 3つの小学校で同じ題材を活用した指導
- 小・中学校栄養教諭による
中学校の給食時間における指導
- 中学校栄養教諭による小学校訪問指導



ウ 小学校陸上記録会にむけての中学校の協力



エ 入学式に向けての中学校教師による合唱指導 全員合唱「この星に生まれて」



① 学力向上部会

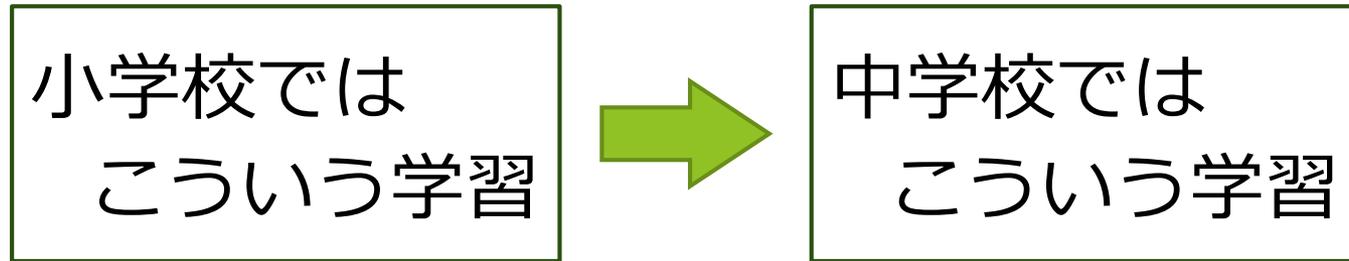
ア ねらい

学力の向上を図ること（学びの連続性）

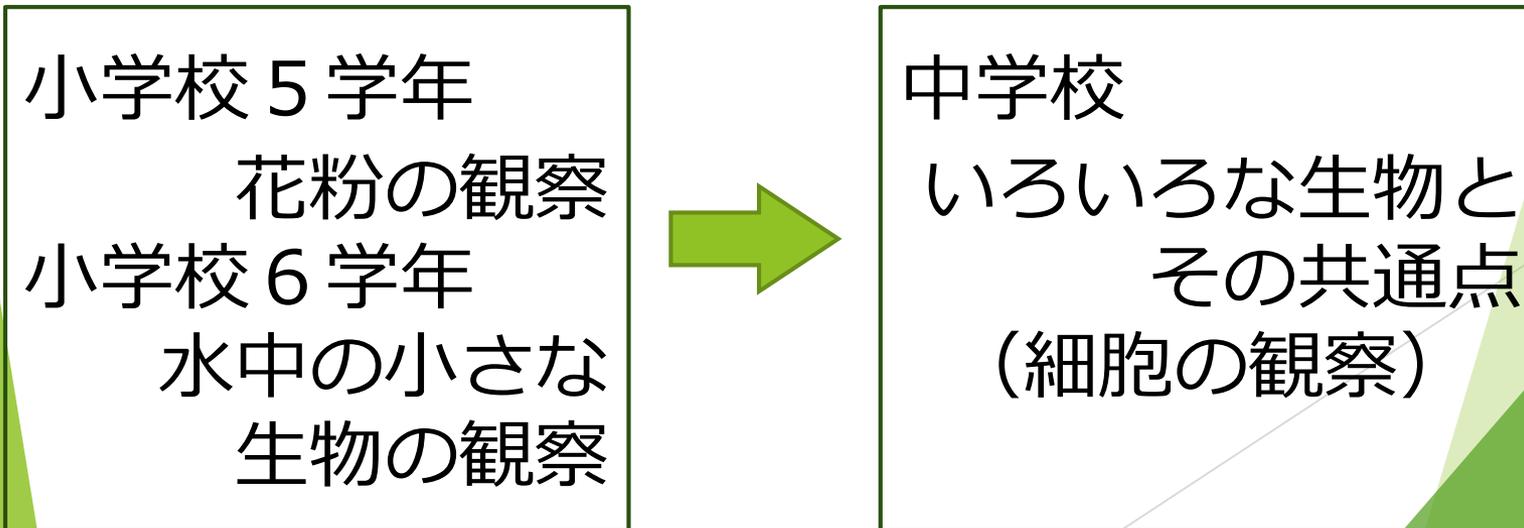
ア) 「学習の約束」の共有

イ) 学習定着状況調査の結果分析

9年間の学びの連続性



理科 顕微鏡の操作



イ 取組

学力向上部会研修会①

- ▶ 学習の約束の共有
- ▶ 令和元年 8 月 2 日・酒門小学校



学力向上部会研修会①

▶ 学習の約束の共有

- ミニテストに関すること

- 黒板やノートの使い方に関すること

学力向上部会研修会②

▶ 学習定着状況調査結果の分析

▶ 令和元年10月21日

第四中学校



学力向上部会研修会②

▶ 学習定着状況調査結果の分析

国語	・ 接続詞
社会	・ 地図の活用
理科	・ 顕微鏡

学力向上部会研修会②

▶ 学習定着状況調査結果の分析

国語	・ 接続詞
社会	・ 地図の活用
理科	・ 顕微鏡

ウ 今後に向けて

- ▶ 9年間の学びの連続性を深めることが期待できる実践
- ▶ 定期的な学力向上部会の開催
 - ▶ 実践状況の確認
 - ▶ 新たな課題の共有

② 規範意識向上部会

ア ねらい

よりよい集団を自ら築く児童生徒の育成を目指し、4校での発達段階を含めた共通理解・共通実践を図る。

② 規範意識向上部会

イ 取組

(ア) 実態把握と実践の方向性

- アンケートによる実態の把握
- 小・中合同の「挨拶運動」の実施
- 9年間を見通した学校生活の約束の検討
- 不登校児童・生徒の解消に向けた取組
- 小中連携による情報の共有
- 道徳的心情・道徳的実践力の育成

規範意識向上部会研修会の実施

令和元年 8 月 1 日

- ▶ 各学校の現状
- ▶ アンケートの内容の検討
- ▶ 2・3年次の研究計画の内容と方法及び今後の活動



規律と協働を高める八策アンケートから

- ・挨拶や礼，授業の始めと終わりの礼，かかとを揃える等の指導を意識的にやっている。
- ・他学級や他教科の授業参観，毎月の家庭学習計画表の作成が低い。



- ・特に小学校では，自分のクラスの授業中に他学級の授業を参観する事が難しい。



- ・導入・展開・まとめ等部分的に参観する時間を決める。



- ・小学校低学年でもできるような計画表の作成を目指す。

あいさつについての活動

- ▶ あいさつ・礼儀に関する道徳の授業の実施⇒ワークシートの掲示物を作成して各校に掲示
- ▶ あいさつについてのスローガンの作成



ウ 今後に向けて

- 「不登校児童・生徒の解消に向けた取組」
 - 児童・生徒への働きかけ方
保護者との連携
- 「道徳的心情・道徳的実践力の育成」
 - 「規律と協働を高める八策」
のアンケートの実施
成果の話合い
相互授業参観の継続

③ 体力向上部会

ねらい

「明るく 豊かで 活力のある
生活を営む態度の育成」

取組

(ア) 体カテストを踏まえた取組

始業前・朝の会

▶ 片足バランス

▶ グーパー運動



(ア) 体カテストを踏まえた取組

体育の授業

アップ時

- ▶ 鉄棒ぶら下がり
- ▶ キャッチボール
マスターに類似
した運動



(イ) 健康・安全に関する 自己管理能力を高めるための取組

期間

- 学期1回長期休業明け
- 土, 日をはさむ1週間

内容

- 就寝時刻, 起床時刻, 朝食摂取, 排便, 歯磨き
- 自分が特に頑張る目標を設定

評価

- 自己評価 各項目及び全体評価
- 保護者にも連絡

生活習慣チェックカード



グッドモーニングカード



きそくた^{せい}だ^いしい生活<早寝・早起き・朝ごはん>

年 組 名前

1日の生活を整えることは、心身の健康を維持する上で、大切なことです。あなたは、どんな生活をしていますか？生活のようすを記録して、自分の生活リズムをふりかえてみましょう。
なお、このカードは、小・中連携の一環として、水戸四中学区全体で取り組んでいくものです。

よい生活リズムがつくれるように、保護者の皆様もご協力お願いします。

※ 1・2年生は、おうちの人といっしょにかいてみましょう。

「早寝・早起き・朝ごはん」を合言葉に、生活リズムを整え、学力、体力アップにつなげましょう！

【わたしの目標】

① 時 分までに寝る ② 時 分までに起きる

わたしは _____ をがんばります！

できた ○○ てきなかつた ××	28日	29日	30日	31日	1日	2日	3日
	水	木	金	土	日	月	火
① 昨日の夜、寝た時刻。							
② 今日の朝、起きた時刻。							
③ 朝ごはんを食べた。							
④ 今日の朝、うんちが出た。							
⑤ 朝食後に歯磨きをした。							
わたしの目標達成度							
1 全然できなかった 2 あまりできなかった 3 だいたいできた 4 できた							
【おのれえり】						保護者印	担任印

<保護者の方へ（お願い）>

毎日元気に、いきいきと学校生活を送るために一番大切なことは、よい生活リズムをつくることです。理想的な睡眠時間の目安は、低学年：10時間以上、中学年：10時間、高学年：9時間は必要とされています。

睡眠・食事・運動・休養の時間がバランスよく1日の生活に割り振られているか、お子様と
いっしょに振り返ってください。ご協力をよろしくお願いいたします。

(ウ) 魅力ある学校行事の工夫 についての取組



中学校での教師の講習会



小学校での練習会

今後に向けて

- ・「投力アップのための体力づくり」
「生活習慣チェックカード」
→ 無理なく継続
意識の高揚を図る
- ・「教師のための指導者講習会」
「中学生との陸上練習会」
→ 教職員の交流の場
小中学生の交流の場
時間を調整して継続

③ 交流活動部会

ねらい

- 小中学生の学校間交流活動
- 地域との交流活動を推進

「そろえる」「つなぐ」
教育活動を実践する。

(イ) 取組

1年次の実践を引継ぎ、
第1回部員研修会で役割を分担

- それぞれの交流活動の担当者の明確化
 - ・各担当者...
 - 各活動の計画の立案、
 - 連絡調整、
 - 文書作成・発送、
 - 記録等

○スクールリーダー研修会（継続）



- ・令和元年7月25日（木）
- ・水戸市少年自然の家
- ・児童27名，生徒19名，
引率14名，計60名参加
- ・午前 鉄板焼き（昼食）
- ・午後 話合い「クローバー（おもいやり）」

○小学校学びの広場での中学生の協力



- 令和元年7月23日（火）
 ～26日（金）
- 各小学校の卒業生徒がそれぞれの
 小学校へ3～5日間訪問
- 中学1年生のべ249名参加

○各地区の祭りでの手伝い



令和元年11月10日（日）

- ・ 東部公園
- ・ 中学生ボランティア14名（希望者）
- ・ 活動内容
棒付きパン調理手伝い・販売補助

○しあわせのクローバー作成

令和2年8月31日

合同研修会で完成

- ・5月の臨時休校中の課題として児童生徒が描いたものの中から、各学校が1枚ずつ選出し、一つに合わせた。



ウ 今後に向けて

- ・ 各交流活動の評価
→ 改善・活動の充実

- ・ 地域行事への参加を促進
→ 地域との関わりを
より広げ・深める

5 成果（進捗状況）と今後の課題

(1) 成果

- 四中学区としての特色や実態の理解
- 教職員間の交流の活性化
教職員（特に若手）の資質の向上
- 小中一貫教育の活性化

(2) 課題

- 無理なく続ける小中一貫教育
- 全職員で分担，組織として取り組む
- 交流活動や研修会・教科部員会の在り方の検討

第四中学区

- 吉田小学校
- 酒門小学校
- 吉沢小学校
- 第四中学校